| | 令和 2 年 10 月 19 日 (2020 年) |
|---------------|---|
| 吹田市長 | あて 住所 東京都港区赤坂5-1-33 |
| | ※注1 大和ライフネクスト株式会社 取 の 事業所 代表取締役社長 石﨑 順子 |
| | 電話 (03) 5549 — 7111 |
| | 第30 - L - 15号 |
| | · |
| | (仮称)江坂町3丁目計画 |
| 対象事業区域 | 吹田市 江坂町三丁目411番1、411番3及び412番7 |
| ※注1 | 住 所 大阪府箕面市箕面四丁目8番66号 大和ハウス工業株式会社 北摂支社 建築一級建築士事務所 |
| 設 計 ・ 代 理 者 | 氏 名 大橋 厚夫 |
| | 電話() (担当者:) |
| | 住 所 大阪府箕面市箕面四丁目8番66号 |
| | 大和ハウス工業株式会社 北摂支社 氏 名 ナル 原 ナモ ル |
| | こ 支社長 立石 出 |
| | 令和 1 年 (2019 年) 6 月 27 日 から |
| 事業予定期間 | 令和 2 年 (2020 年) 8 月 21 日 まで |
| | 計画部分 既存部分 合 計 |
| | 対象事業面積 1,162.28 m 0.00 m 1,162.28 m |
| | 建 築 面 積 679.73 m 0.00 m 679.73 m |
| 事業の規模 | 延べ面積 6,169.70 m 0.00 m 6,169.70 m |
| | 最 高 の 高 さ 30.23 _m m |
| | 鉄筋コンクリート 造・一部 造構造・階数 |
| | # 5 |
| | 区分 ② 新築 □ 増築 □ 改築 □ 新設 □ 増設 |
| | □ 開発行為事業(目的: |
| | ☑ 建築物の新築又は増改築の事業 |
| 事 業 の 目 的・内 容 | □ 工場・事業場 ② 住宅・共同住宅(151 戸) 〕 |
| | □商業施設□事務所□公共的建築物 |
| | □ その他 () 」 |
| | □ その他() 受付 |
| 環境まちづくりの内容 | ガイドライン取組事項チェックリストによる |
| | ・ガイドライン取組事項チェックリスト |
| 添付書類 | ・工事関連車輌通行ルート図 |
| | ・その他必要と認める図書第第 |

環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針 環境美化について地域清掃ボランティア活動を行ったり、AEDを使用した救急救命講習を受講することで安心安全なまちづくりに貢献したいと考えています。

当該事業における

吹田市環境まちづくりガイドライン、吹田市開発事業の手続き等に関する条例に定められた内容の 当該事業における 環境まちづくり方針 きたいと考えています。

1. 実施率と主な実施内容

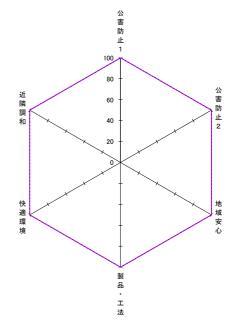
1-1. 工事中

実施率 100 パーセント

(小数点第2位以下切り捨て)

実施した・一部実施したの項目数 47 該当なしを除いた項目数 47

---:方針, —:実施報告書



| | 公害防止 1 | 公害防止 2 | 地域安心 | 製品・工法 | 快適環境 | 近隣調和 |
|------|--------|--------|------|-------|------|------|
| 施報告書 | 20 | 11 | 5 | 3 | 5 | 3 |
| 書 | 20 | 11 | 5 | 3 | 5 | 3 |
| | | | | | | |
| | 公害防止 1 | 公害防止 2 | 地域安心 | 製品・工法 | 快適環境 | 近隣調和 |
| 方 | 20 | 12 | 5 | 3 | 5 | 3 |
| 針 | 20 | 12 | 5 | 3 | 5 | 3 |
| | | | | | | |

主な実施内容

- ・建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車両台数を抑制しました。
- ・杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない工法を採用しました。
- ・道路などへの濁水や土砂の流出を防止しました。
- ・工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先などを掲示するとともに、苦情発生時には真摯に対応しました。

環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設・設備等

実施率 86.1 パーセント 実施した・一部実施したの項目数

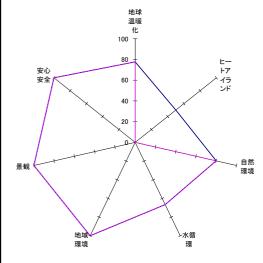
該当なしを除いた項目数

31

36

(小数点第2位以下切り捨て)

---:方針, --: 実施報告書



| | 地球温暖化 | ヒートアイランド | 自然環境 | 水循環 | 地域環境 | 景観 | 安心安全 |
|-----|-------|----------|------|-----|------|----|------|
| 施報告 | 7 | 1 | 4 | 2 | 9 | 5 | 3 |
| 書 | 9 | 2 | 5 | 3 | 9 | 5 | 3 |
| | | ı | | | 7 | | |

| | | ı | | . L | ┦ , | | i |
|---|-------|----------|------|-----|------|----|------|
| | 地球温暖化 | ヒートアイランド | 自然環境 | 水循環 | 地域環境 | 景観 | 安心安全 |
| 方 | 7 | 0 | 4 | 2 | 11 | 5 | 3 |
| 針 | 9 | 2 | 5 | 3 | 11 | 5 | 3 |

主な実施内容

(1)省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入

CO2削減量

48.8 t-CO2/年

導入内容

LED照明器具を1008台、ヒートポンプシステムを導入した高効率空調機器4台:APF6.1を 採用しました。

(2)緑地面積

緑化率

15.4 %

条例基準分

<mark>15.0</mark> %以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

(3)雨水利用

雨水貯留量

うち雨水利用量

利用目的

【 □植栽水やり □ トイレの流し水 □ 洗車 □ その他

(4)上記以外の主な実施内容

- ・鉄筋コンクリート造とすることで耐久性を高め、長寿命の建築物を施工しました。
- ・塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用しました。 ・吹田市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調 和したものとなるように配慮しました。

環境まちづくりの概要(3)
2. 方針からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

| 項目番号 | 修正前のチェック内容 | 修正後のチェック内容 |
|------|------------|------------|
| 31 | 実施する | 該当なし |
| 55 | 実施する | 一部実施した |
| 65 | 実施しない | 一部実施した |
| 89 | 実施する | 該当なし |
| 90 | 実施する | 該当なし |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

| 3. その他 | 也(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。) |
|--------|--|
| | 宅配ボックスを設置しました。 |

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取 組事項を実施します。

| | 取組事項 | 実 施 の 有 無 | 実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。) |
|-----|-----------------------------|--------------------------|---|
| | 会学や騒音などの公害を防止します。 | | |
| 建設机 | 雙械 | | |
| 1 | 低公害型建設機械の使用 | 実施した 一部実施した 実施しない 下 該当なし | 排出ガス対策型、低騒音型、低振動型の建設機械を使用しました。 |
| | | 実施した 一部実施した | |
| 2 | 低燃費型建設機械の使用 | 実施しない 該当なし | 出来る限り低燃費型建設機械を使用しました。 |
| | | | |
| 3 | アイドリングの禁止 | □ 実施しない □ 該当なし | 排出ガス、騒音の低減を図る為、アイドリングをしませんでした。 |
| | | ▼ 実施した 一部実施した | |
| 4 | 環境に配慮した運転 | 実施しない 該当なし | 空ぶかしの抑制など環境に配慮した運転を行いました。 |
| - | TOTAL A MARKET | ▼ 実施した 一部実施した | 工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しまし |
| 5 | 稼動台数の抑制 | 実施しない | <i>t</i> =. |
| 6 | 工事の平準化 | ▼ 実施した 一部実施した | - 一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準化を図りました。 |
| 0 | 工事の十学16 | 実施しない 該当なし | 一時的に乗出して修園しないなり、工事の十学化を図りました。 |
| 7 | 機械類の整備点検 | ▼ 実施した 一部実施した | 機械類は適切に整備点検を行いました。 |
| | | □ 実施しない □ 該当なし | |
| 工事 | 関連車両 | | |
| 8 | 低公害、低燃費車の使用 | ▼ 実施した □ 一部実施した | 燃費や排出ガス性能のよい車両を使用しました。 |
| | | □ 実施しない □ 該当なし | |
| 0 | 大阪府条例に基づく流入車規制の遵守 | ▼ 実施した | |
| 3 | 八阪州 木列に座 ノヘルハ 半焼 刊の 母寸 | ■ 実施しない ■ 該当なし | 八敗内:木内に巻 ノールハキが、即で土土 回しおいて ほうしょした。 |
| 10 | | ▼ 実施した 一部実施した | |
| 10 | 工事関連車両の表示 | □ 実施しない □ 該当なし | 工事関連車両であることを車両に表示しました。 |
| | 周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設 | □ 実施した □ 一部実施した | 工事関連車両の走行ルートや時間帯はコンクリート打設など連続して 車両を運行する必要がある工事を除き、周辺道路状況や住居の立地 |
| 11 | 周辺4次に配慮したと17ルードや時間帯の設定 定 | 実施しない 該当なし | 平両を建行する必要がある工事を除さ、同22直路状況や住居の立地 状況などを考慮して一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避けて設 定しました。 |
| 4.0 | | ▼ 実施した | 建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定して車両台数を抑 |
| 12 | 建設資材の搬出入における車両台数の抑制 | 実施しない [該当なし | 制しました。 |
| 12 | 通勤等で利用する車両台数の抑制 | ▼ 実施した | 作業従事者の通勤や現場監理などには、徒歩・二輪車・公共交通機関 |
| 10 | 歴知寺(竹川)の平岡口奴の 沖町 | □ 実施しない □ 該当なし | の利用・相乗りなどを奨励し、工事関連の車両台数を抑制しました。 |
| 14 | 土砂の積み降ろし時の配慮 | ▼ 実施した 一部実施した | 工事車両による土砂の積み降ろしの際には、騒音・振動・土砂の飛散 |
| ., | TO THE TOTAL STREET | 実施しない | 防止に配慮しました。 |
| 15 | タイヤ洗浄 | ▼ 実施した 一部実施した | 周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現場でタイヤ洗浄を行いま |
| .5 | | 実施しない 該当なし | Ltc. |
| | | | |

| | 取 組 事 項 | 実 施 の 有 無 | 実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。) |
|-------------|------------------|--|--|
| 16 | ドラム洗浄時の配慮 | ▼ 実施した | コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音や水質汚濁に 配慮しました。 |
| 17 | 場外待機の禁止 | ▼ 実施した | 工事関連車両を場外に待機させませんでした。 |
| 18 | クラクションの使用抑制 | ☑ 実施した | クラクションの使用は必要最小限にしました。 |
| 19 | アイドリングの禁止 | ☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし | 排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしませんでした。 |
| | 環境に配慮した運転 | □ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし | 空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。 |
| 工事方: 騒音・ | 法 振動等 | | |
| 21 | 防音シートなどの設置 | ▼ 実施した | 建設作業時は仮囲いと養生シートを設置しました。必要に応じて防音シートなどを設置しました。 |
| 22 | 丁寧な作業 | ▼ 実施した | 建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行いました。 |
| 23 | 騒音や振動の少ない工法の採用 | ▼ 実施した | 杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない工法を採用しました。 |
| 24 | 近隣への作業時間帯の配慮 | ▼ 実施した | 騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯で行いました。 |
| 粉じん | ・・アスベスト | | |
| 25 | 粉じん飛散防止対策 | ▼ 実施した | 周辺への粉じん飛散を防止するため、掘削作業・土砂等の堆積場の設置等を行う場合は、散水等の粉じん飛散防止対策を行いました。 |
| 26 | アスベストの調査など | 実施した 一部実施した 一部実施した 「実施しない ▼ 該当なし | 解体がなかった為。 |
| 27 | アスベスト飛散防止対策 | 実施した 一部実施した | 解体がなかった為。 |
| 水質剂 | 5濁·土壌汚染·地盤沈下 | | , |
| 28 | 濁水や土砂の流出防止 | ☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし | 道路などへの濁水や土砂の流出を防止しました。 |
| 29 | 塗料などの適正管理及び処分 | ☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし | 塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は 適正に処分しました。 |
| 30 | 土壤汚染対策 | 実施した 一部実施した | 形質変更面積が3000㎡未満であり、法令の対象外であったため。 |

| | 取 組 事 項 | 実施の有無 | 実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。) |
|-----|---------------------|---------------------------------|---|
| 31 | 地盤改良時の配慮 | 実施した 一部実施した | 地盤改良工事はありませんでした。 |
| 32 | 周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用 | ▼ 実施した | 周辺地盤や家屋などに影響を及ぼさない工法を採用しました。 |
| 悪臭• | ·廃棄物 | | |
| 33 | アスファルト溶解時の臭気対策 | ▼ 実施した | アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮や溶解の温度管理などの 臭気対策を行いました。 |
| 34 | 現地焼却の禁止 | ▼ 実施した | 現場では廃棄物などの焼却は行いませんでした。 |
| 35 | 解体時の環境汚染対策 | 実施した 一部実施した 一部実施した 実施しない ☑ 該当なし | 解体工事はありませんでした。 |
| 36 | 仮設トイレ設置時の臭気対策 | ▼ 実施した | 仮設トイレ設置時は、適切なメンテナンスや設置場所の配慮などにより 臭気対策を行いました。 |
| 地域の | 安全安心に貢献します。 | | |
| 37 | 地域との連携における事故の防止 | ▼ 実施した | 地域の交通情報を考慮して、十分な人数の警備員を配置し事故防止に努めました。 |
| 38 | 児童などへの交通安全の配慮 | ▼ 実施した | 児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に配慮しました。 |
| 39 | 夜間や休日の防犯対策 | ▼ 実施した | 夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出 入口を施錠して対策を講じました。 |
| 40 | 児童などへの見守り、声かけ | ▼ 実施した | 登下校中や放課後の児童や生徒の見守りや声かけに取り組みました。 |
| 41 | 地域の防犯活動への参加 | ▼ 実施した | 地域の防犯活動に参加しました。 |
| 環境に | こ配慮した製品及び工法を採用します。 | | |
| 省エネ | ネルギー | , | , |
| 42 | エネルギー消費の抑制 | ▼ 実施した | エネルギー効率の良い機器の利用により、工事中に使用する燃料・電 気・水道水などの消費を抑制しました。 |
| 省資源 | 京 | | |
| 43 | 残土発生の抑制 | ▼ 実施した | 建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制しました。 |
| 44 | 廃棄物の減量 | ▼ 実施した | 資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量しました。 |
| 快適な | よ環境づくりに貢献します。 | | |
| 景観 | | | |
| 45 | 仮囲い設置時の配慮 | ▼ 実施した | 仮囲い設置時、機能性を確保した上で景観面にも配慮しました。 |

| | 取 組 事 項 | 実 施 の 有 無 | 実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。) |
|-----|----------------------|--------------------------------|---|
| 46 | 仮設トイレ設置時の配慮 | 実施した | 仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所な どを工夫しました。 |
| 周辺の | の環境美化 | | |
| 47 | 周辺道路の清掃 | ▼ 実施した | 工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を行いま した。 |
| 48 | 場内整理 | ▼ 実施した | 建設資材や廃棄物などの場内整理を行いました。 |
| ヒート | | | |
| 49 | 打ち水 | □ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし | 夏期において水道水を確保し、周辺道路などに打ち水を行いました。 |
| 地域と | の調和を図ります。 | | |
| 工事記 | 说明·苦情対応 | | |
| 50 | 工事内容の事前説明及び周知 | ▼ 実施した | 近隣住民に工事実施前に工事概要・作業工程などを十分説明し、また 工事中も適宜、現況及び今後の予定をお知らせし、理解を得るようにしました。 |
| 51 | 苦情対応 | ▼ 実施した | 工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先を掲示するとともに、苦情発生時は真摯に対応しました。 |
| 周辺の | - の教育・医療・福祉施設への配慮 | | |
| 52 | 工事内容の事前説明及び工事計画の配慮 | □ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし | 周辺に教育・医療・福祉施設がなかった為。 |
| 53 | 騒音、振動などの配慮 | □ 実施しない □ 該当なし | 周辺に教育・医療・福祉施設がなかった為。 |
| 周辺の | の事業者との調整 | | |
| 54 | 複合的な環境影響の抑制 | ▼ 実施した | 工事が重複することによる複合的な騒音・振動・粉じん・工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域における大規模な工事の状況を把握し該当する事業者・工事施工者などと連絡をとり、可能な限り工事計画などを調整するように努めました。 |

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

| | 取 組 事 項 | 実 施 の 有 無 | 実施内容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。) |
|-----|----------------------------------|--|--|
| 地球沿 | 温暖化対策を行います。 | | |
| 55 | 大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建築物環境性能表示制度の活用 | □ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし | 大阪府建築物の環境配慮制度において高い評価結果を得られるよう 努めるとともに、その評価結果を大阪府建築物環境性能表示制度によ り広告物などに表示しました。CASBEEにおいてB-ランクでした。 |
| 56 | ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)設計 | □ 実施した □ 一部実施した | 戸建住宅ではなく集合住宅の為、該当しませんでした。 |
| 57 | 高効率及び省エネルギー型機器などの採用 | ☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし | LED照明 1008台、ヒートポンプシステムを導入した高効率空調機器4台:APF6.1を採用しました。 |
| 58 | 再生可能エネルギーの活用 | □ 実施した □ 一部実施した | コストがかかる為。 |
| 59 | エネルギー効率の高いシステムの導入 | ▼ 実施した | ヒートポンプシステムを導入した高効率空調機器4台:APF6.1を採用しました。 |
| 60 | エネルギーを管理するシステムの導入 | □ 実施した □ 一部実施した | コストがかかる為。 |
| 61 | 冷媒漏えい(使用時排出)の防止 | ▼ 実施した | 高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを冷媒として使用する装置を有する設備(空調機器、冷凍冷蔵庫など)を設置する際には、設置後に配管などからの冷媒の漏えい(使用時排出)が発生しないように設計しました。 |
| 62 | 建築物のエネルギー負荷の抑制 | ▼実施した 一部実施した 実施しない 該当なし | 全住戸の窓に複層ガラスを採用し、建築物のエネルギー負荷を抑制しました。 |
| 63 | 長寿命な建築物の施工 | | 鉄筋コンクリート造とすることで耐久性を高め、長寿命の建築物を施工 しました。 |
| 64 | 環境に配慮した建設資材などの製品の採用 | ▼ 実施した | 住戸の床仕上げにグリーン購入法対象の製品を採用しました。 |
| ヒート | | | |
| 65 | 建物屋根面、壁面の高温化抑制 | 実施した 一部実施した 実施しない 該当なし | 建物南側33㎡の壁面緑化を行いました。(緑化率に入ります。) |
| 66 | 地表面の高温化抑制 | □ 実施した □ 一部実施した | コストがかかり、またメンテナンス手間もかかる為。 |
| 自然班 | 環境を保全し、みどりを確保します。 | | |
| 67 | 動植物の生息や生育への配慮 | 実施した 一部実施した 実施しない 下談当なし | 事業計画地の北東部に隣接する緑地と連続して緑地を配置し、動植物の生息や生息環境に配慮しました。 |
| 68 | 地域のシンボルツリーの保全 | □ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし | 地域のシンボルツリーは存在しませんでした。 |
| 69 | 既存の植生の保全 | 実施した 一部実施した 一部実施した 「実施しない ▼ 該当なし | 現況が駐車場及び更地の為、既存の植生は存在しませんでした。 |

| | 取 組 事 項 | 実 施 の 有 無 | 実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。) |
|-----|---------------------|--|---|
| 70 | 地域に応じたみどりの創出 | ▼ 実施した | 道路面を中心に敷地内緑化を行う等、地域に応じた創意工夫により緑を創出し良好な景観で生物の生息空間の形成に努めました。 |
| 71 | 駐車場緑化 | □ 実施した □ 一部実施した | メンテナンスコストと維持管理等の面から実施はありませんでした。 |
| 72 | 屋上緑化など | ▼ 実施した | 建物南側33㎡の壁面緑化を行いました。(緑化率に入ります。) |
| 73 | 法面緑化 | □ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし | 計画地に法面はありませんでした。 |
| 74 | 植栽樹種の選定 | ▼ 実施した | 植栽樹種は、地域の環境に合わせた樹種を選定しました。 |
| 水循環 | を確保します。 | | |
| 75 | 水資源の有効利用 | □ 実施した □ 一部実施した □ ま当なし □ 該当なし | コストがかかる為。 |
| 76 | 雨水流出を抑制する施設の設置 | ▼ 実施した | 事業区域の面積に応じて雨水流出を抑制する為に雨水浸透桝16ヶ所を設置しました。 |
| 77 | 雨水浸透への配慮 | ▼ 実施した | 雨水浸透に配置し、雨水浸透桝を16ヶ所設置しました。 |
| 地域0 |)生活環境を保全します。 | | |
| 大気・ | 騒音・振動等 | | I |
| 78 | 騒音や振動を発生させる設備設置時の配慮 | ▽ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし | 空調機などの騒音や振動を発生させる設備の設置においては、低騒音型機器の採用、壁などの遮音性の確保、設置場所に配慮するなど、 騒音や振動対策を講じました。 |
| 79 | 住宅における防音サッシ等の設置 | ▼ 実施した | 住戸の窓はT-1サッシを採用しました。 |
| 80 | 駐車場の配置計画時の配慮 | ▼ 実施した | 周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場の設置については、住居に隣接しない計画とするなど近隣に配慮しました。 |
| 81 | 近隣への悪臭及び騒音の配慮 | ▼ 実施した | 近隣への悪臭、騒音などを防止するため、窓・換気扇・排気口の位置 及び廃棄物置場の構造などに配慮しました。 |
| 82 | ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策 | 実施した 一部実施した | ボイラー・タービン・エンジンなどの機器の設置はありませんでした。 |
| 83 | 屋外照明や広告照明設置時の配慮 | ▼ 実施した | 屋外照明については、近隣住民に対する光の影響を抑制しました。 |
| 84 | 建築資材による光の影響の考慮 | ▼ 実施した | 建築資材(ガラスなど)による太陽の反射光については、設置の際に光 の影響を抑制しました。 |
| 85 | 環境に配慮した塗料の使用 | ▼ 実施した | 塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを 採用しました。 |
| 86 | 周辺の教育、福祉や医療施設への配慮 | 実施した 一部実施した 一部実施した 「要施しない ▼ 該当なし | 周辺に教育施設・福祉施設・医療施設がなかった為。 |

| 取 組 事 項 | | 実 施 の 有 無 | 実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しな い及び該当なしの場合は理由を記入してください。) | | |
|-------------------------|------------------------------|--------------------------------|---|--|--|
| 中高層建築物(高さ10メートルを超える建築物) | | | | | |
| 87 | 日照障害対策 | | 日照障害については、建築基準法の日影規制対象外地域を含めた地域についての日影図を作成し、発生する範囲を事前に把握し、近隣住民に説明するとともに、出来る限りその軽減を行いました。 | | |
| 88 | 電波障害の事前把握及び近隣説明 | ▼ 実施した | 電波障害の発生が想定される範囲を現地調査・机上計算・影響範囲図 作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明しました。 | | |
| 89 | 電波障害発生時の改善対策 | □ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし | 電波障害の発生がなかった為。 | | |
| 90 | プライバシーの配慮 | 実施した 一部実施した 実施しない 図 該当なし | 近隣住民のプライバシーを侵害する恐れがなかった為。 | | |
| 景観まちづくりに貢献します。 | | | | | |
| 91 | 地域への調和 | ▼ 実施した | 吹田市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を 尊重し、地域に調和したものとなるよう配慮しました。 | | |
| 92 | 景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画及び設計 | ▼ 実施した | 景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、 「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画と設計を行いました。 | | |
| 93 | 景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計 | ▼ 実施した | 景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画と設計を行いました。 | | |
| 94 | 重点地区指定に向けた協議 | □ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし | 1haを超えなかった為。 | | |
| 95 | 景観形成基準の遵守 | ▼ 実施した | 景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進しました。 | | |
| 96 | 屋外広告物の表示などに関する基準の遵守 | ▼ 実施した | 屋外広告物の表示等に関する基準を遵守し、景観まちづくりを推進しました。 | | |
| 安心安全のまちづくりに貢献します。 | | | | | |
| 97 | 歩行者が安全に通行できる工夫 | ▼ 実施した | 敷地内での歩車分離を行い計画地内において、歩行者が安全に通行 出来る工夫をしました。 | | |
| 98 | 災害時、緊急時対応のための安心安全に配慮 した整備 | ▼ 実施した | 建物内にバール・ハンマーの教助用資機材を設置しました。 | | |
| 99 | 防犯対策のための安心安全に配慮した整備 | ☑ 実施した | エントランスにセキュリテイ設備を導入しエレベーター内に防犯カメラを 設置しました。また管理人を建物内に常駐させ安心安全に配慮した適 切な整備を行いました。 | | |

